

三菱総研の報告書他と酷似

06/09/21「おぼろげ」

警察大学校跡地 開発

中野区の委託を受けて大手シンクタンクの三菱総合研究所（東京都千代田区）が作成した「中野駅周辺まちづくり推進委託報告書」（二〇〇六年三月）をめぐる、委託料千三百万円を支払ったのは不当として十九日、区民二人が田中大輔区長への委託料の返還勧告を求め住民監査請求をしました。二十日、監査請求した小木貫仁夫（三）佐藤ヨシユキ（五）の両氏ら住

東京・中野区 住民が監査請求



監査委員する（左から）小木貫、佐藤ヨシユキ氏。20日、中野区

民が記者会見し、明らかにしました。中野区が三菱総研に委託調査しているのは、警察大学校等跡地の活用を中心とするもの。区民の

調査委託料1300万円は不当

中野区の発注で三菱総合研究所（千代田区）が作成した再開発の調査報告書が、前年に別の業者がまとめた報告書の丸写しに見える内容だと、区民が指摘していることが二十日、分かった。区は調査費として三菱総研に1300万円を支払ったが、指摘した区民は返還を求めて監査請求を行っている。

区民によれば、丸写しの疑いが持たれているのは、警察大学校跡地（中野区中野の開発計画）を含む「中野駅周辺まちづくり推進委託報告書」。作成した「地区計画検討支援業務報告書」とほとんど同じ内容だった。区は報告書を検査した上、合格したとして調査費1300万円を支払ったが、区民二人が「丸写しといえる報告書は不適切で、合格と判断した区はチェック不足」と指摘、田中大輔区長に1300万円の補填を求める住民監査請求を行った。区の拠点まちづくり推

進を望んでいますが、区は超量ビル建設を含む再開発を進めようとしています。請求書では、三菱総研が作成した報告書のうち約半分のページ数にあたる「第3部中野四丁目地区計画の推進」のほとんどの部分が、財団法人東京都新都市建設社が作成した「地区計画検討支援業務委託報告書」（〇五年三月）の「丸写し」といえる内容だと指摘しています。また、調査委託契約について、委託設計書や内訳書が作成されず、委託経費千三百万円の算定根

拠が示されていないこと、競争入札による契約にすれば契約金額を引き下げることができたなど主張しています。小木貫氏は「三菱総研という大企業が、千三百万円という大金をかけて作る報告書ではない。しっかり監査してほしい」と述べました。中野区は、〇三年度からシンクタンクへの調査委託を毎年繰り返し、四年度で約五千万円を支出。〇四年度の会計監査では「契約方法が適正でなかった」との指摘を受けています。

06/09/21「産経」

中野区の再開発調査報告書

「三菱総研が丸写し」

調査費返還求め監査請求

「丸写し」といえる報告書は不適切で、合格と判断した区はチェック不足」と指摘、田中大輔区長に1300万円の補填を求める住民監査請求を行った。区の拠点まちづくり推

進を望んでいますが、区は超量ビル建設を進めようとしています。請求書では、三菱総研が作成した報告書のうち約半分のページ数にあたる「第3部中野四丁目地区計画の推進」のほとんどの部分が、財団法人東京都新都市建設社が作成した「地区計画検討支援業務委託報告書」（〇五年三月）の「丸写し」といえる内容だと指摘しています。また、調査委託契約について、委託設計書や内訳書が作成されず、委託経費千三百万円の算定根



作成した「地区計画検討支援業務報告書」とほとんど同じ内容だった。区は報告書を検査した上、合格したとして調査費1300万円を支払ったが、区民二人が「丸写しといえる報告書は不適切で、合格と判断した区はチェック不足」と指摘、田中大輔区長に1300万円の補填を求める住民監査請求を行った。区の拠点まちづくり推

06/09/20「写明日」

監査請求書などによると、三菱総合研究所が納品した報告書の半分以上は04年度に別の業者が納品した報告書と同内容だという。報告書が前年度の修正程度ならば、競争入札で契約金額がもっと下がったはずなどとしている。これに対し、区拠点まちづくり推進室では「監査委員の対応を待たない」としている。

再開発調査巡り 住民が監査請求

中野区長に

中野区が警察大学校跡地の再開発などの「中野駅周辺まちづくり計画」に関連し、05年度に三菱総合研究所と契約金額1300万円で調査委託契約を結んだ件で、その支出は違法ないしは不当だと住民二人が19日、契約金額1300万円の区への返還を田中大輔区長に求める住民監査請求をした。